

2016年8月12日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
SOMPOリスクアマネジメント株式会社

「自動解析プログラムを使用した映像解析による走行診断サービス」の 提供開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）とSOMPOリスクアマネジメント株式会社（社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、8月10日から「自動解析プログラムを使用した映像解析による走行診断サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始しました。

1. 背景

近年、運輸事業者や各企業の営業車などへのドライブレコーダの導入が進んでいます。一般的なドライブレコーダには、危険挙動発生時などGセンサ^(*1)の閾値を超えた映像のみを抽出する「イベント録画機能」と運転時の映像を常時記録する「常時録画機能」があります。

多くの企業で、「イベント録画機能」から抽出した映像をドライバーの教育に活用していますが、現状では、「イベント録画機能」では把握することができない、「交差点で赤・黄信号を通過してしまう」「一時停止標識・標示にしたがって適切に安全確認をしていない」といった運転については、教育に活用されていないケースが想定されます。また、「常時録画機能」で記録されるこうした運転に関する映像の抽出には、極めて労力がかかっており課題となっています。

「交差点で赤・黄信号を通過してしまう」「一時停止標識・標示にしたがって適切に安全確認をしていない」ような運転は、交差点での「出会い頭衝突」につながる恐れがあります。「出会い頭衝突」は全交通事故形態の約24%^(*2)を占めており、車両相互の速度が高い場合は、大事故につながるケースも想定されます。

こうした状況を受け、損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクアは、「交差点走行」に焦点を絞り、常時録画機能で記録される映像（以下「常時録画映像」）を自動解析して「赤・黄信号通過」「一時停止不停止」を抽出し、指導レポートを提供するサービスを開発し提供を開始することとしました。

* 1 加速度を検知するセンサ

* 2 出典：警察庁交通局「平成27年における交通事故の発生状況」

2. 本サービスの概要

本サービスでは、以下3つのメニューをご提供します。

項目	内容
①映像解析サービス (*3)	ご送付いただいた記録媒体から、危険な走行シーンの映像を自動で抽出し、正しい運転行動および指導ポイントを記載した指導用教材とともに、「解析レポート」を作成します。
②<オプション> 映像を活用したドライバー向け講習会	専門の講師による、抽出された映像を活用した安全運転講習会を実施します。実際の映像を活用した、臨場感のある、かつ討議による双方向型の講習会となります。
③<オプション> 効果検証コンサルティング	①映像解析サービスまたは②映像を活用したドライバー向け講習会を実施した数か月後を目途に「事故発生率」などの推移を確認し、効果検証を含めた事故防止コンサルティングを行います。

(①は損保ジャパン日本興亜、②③はSOMPOリスクアがご提供します。)

*3 本サービスでは、常時録画機能で記録された映像を解析します。イベント録画機能で記録された映像の解析サービスにつきましては、ご要望に応じ個別に承ります。

(1) 特長

- ・従来から抽出するのに多大な労力がかかっている「赤・黄信号通過」や「一時停止不停止」の映像を、常時録画映像のなかから抽出します。
- ・「映像を活用したドライバー向け講習会」では、産業カウンセラーまたは交通心理士等の資格を有するSOMPOリスクアの専門コンサルタントが、ドライバーの意識を変えるためのポイント等を解説します。

(2) 対象

貨物自動車運送事業者、旅客自動車運送事業者、および営業車を保有する企業

(3) 費用 (税抜)

- ① 映像解析サービス：記録媒体一枚あたり10,000円(*4)
- ② 映像を活用したドライバー向け講習会：150,000円/回
- ③ 効果検証コンサルティング：別途お見積り

*4 1社あたりの申込は記録媒体5枚程度を想定していますが、ご相談によりご要望を承ります。

3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクアは、本サービスの提供を通じて、企業の自動車事故防止を支援していきます。

以上